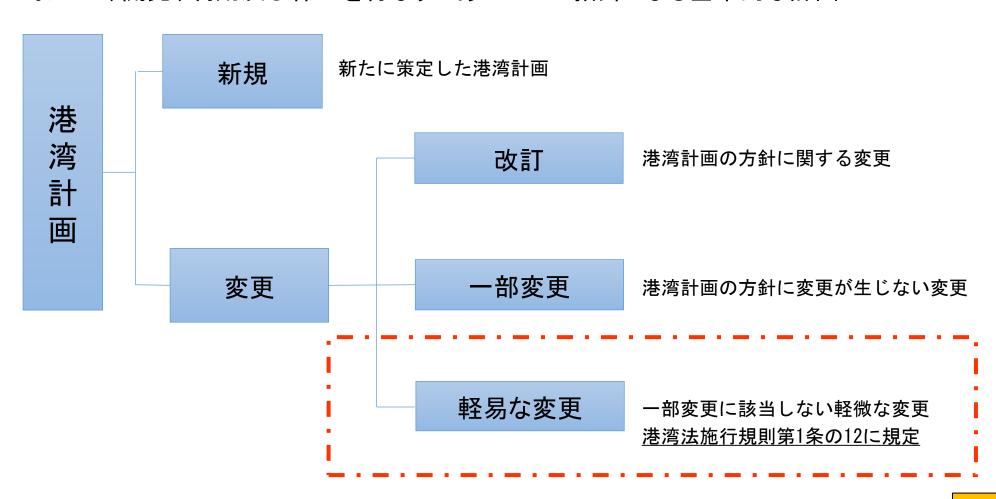
港湾計画の種類

港湾計画とは・・・

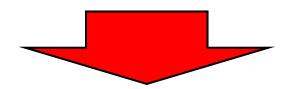
港湾法第3条の3に規定される法定計画であり、一定の水域と陸域からなる港湾空間において、開発、利用及び保全を行なうにあたっての指針となる基本的な計画



港湾計画の種類

港湾法施行規則より改訂・一部変更に該当する変更とは・・・

- 〇係留施設
 - 直轄工事(国)の事業対象となる施設
 - → 外国貿易船を係留する水深-12m以上の岸壁
 - → 内国貿易船を係留するコンテナ、フェリー、RORO船用の岸壁
- 〇水域施設
 - 当該港湾において主要と認められる航路
 - 直轄工事(国)の事業対象となる係留施設のための泊地
- 〇土地利用計画
 - ・面積20ヘクタール以上の土地利用計画変更 等



本件については、上記に掲げるいずれの変更条件にも該当しないため、「軽易な変更」とする。

大阪港港湾計画の軽易な変更について



1一1. 諮問事項 公共埠頭計画変更

■ 変更理由

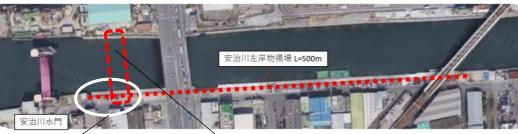
● 1970 (昭和45) 年に完成した安治川水門 (大阪府所管) の施設更新に伴い、港 (安治 川内港) 地区において、公共埠頭計画を変更する。

位置図



現況写真



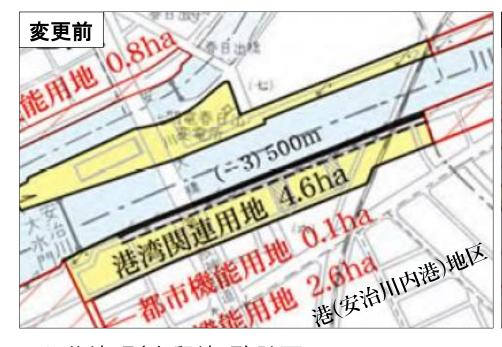


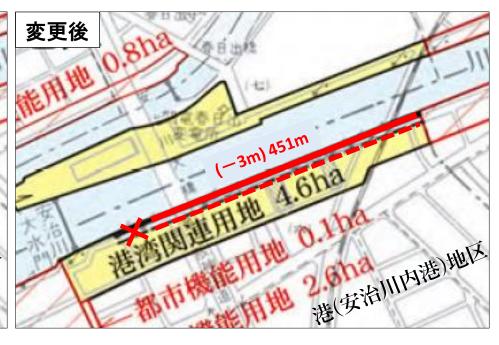
物揚場廃止範囲 L=49m

新水門建設位置

1一1. 諮問事項 公共埠頭計画変更

- 変更内容【公共埠頭計画の変更】
- 安治川左岸物揚場の延長変更





● 公共埠頭(内貿埠頭)計画

物揚場名称	水深(m)	延長(m)
安治川左岸物揚場	3	500

物揚場名称	水深(m)	延長(m)	
安治川左岸物揚場	3	451	

1-2. 公共埠頭計画変更の背景

■ 安治川水門の更新について

- 平成31年2月18日 大阪府により安治川水門の更新の方針を公表
- ✓ 老朽化する安治川水門の更新について、大阪府河川構造物等審議会の平成29年9月4日付け答申を 踏まえ、老朽化が進んでいること及び津波への対応を含めた基本検討を進めた結果、現水門付近に津 波・高潮に対応できる新たな水門を建設する対応方針を決定。

【安治川水門の概要】

<平成31年2月18日時点>

水門名	完成年月	経過年数	【推定】余寿命※
安治川水門	1970(昭和45)年 3月	約48年	15年

※現況調査(精密点検)により推定

● 令和元年10月31日に開催された大阪府河川構造物等審議会において、施工性、経済性、周辺の土地 環境を踏まえ、現水門の直上流に決定。

1一3. 施設整備計画

■ 安治川水門改築位置図

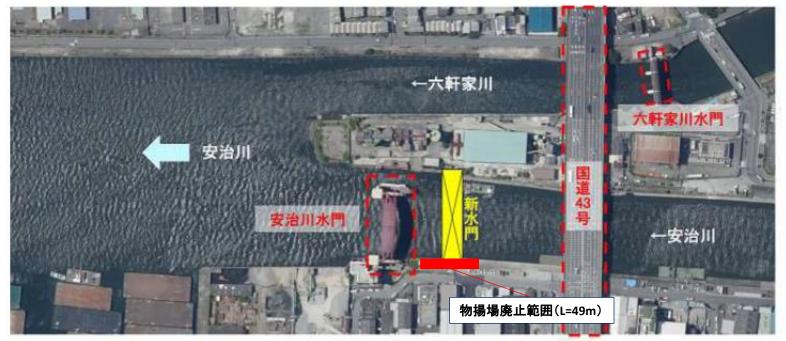
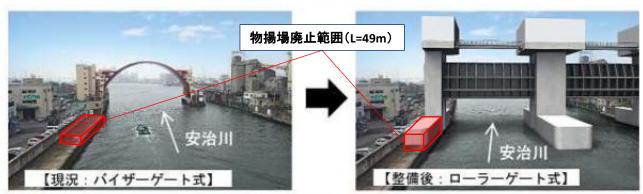


図 水門改築位置図(安治川水門)



※大阪府HPより

- 安治川左岸物揚場の利用状況について
- 安治川左岸物揚場(延長500m)のうち、今回廃止する範囲(延長49m)において、現在、船舶の係留や 荷役はなされていない。

1-4. 環境への影響と評価

■ 計画変更に伴う環境影響について

大気質について

- 本計画変更は、物揚場の一部を削除するものであることから、大阪港全体における船舶の停泊時・航行時に 排出される大気汚染物質の総量への影響は軽微である。
- 以上のことから、今回計画が大気質に及ぼす影響は軽微であると考えられる。



・ 今回計画が環境に及ぼす影響は軽微である

■ 変更理由

● 立地企業の要請に基づき、岸壁の一部を廃止するため、南港(南埠頭)地区において、 専用埠頭計画を変更する。

位置図



現況(航空写真)



■ 変更内容【専用埠頭計画の変更】

● 岸壁延長の変更





● 専用埠頭計画

岸壁名称	水深(m)	延長(m)	対象船舶 (DWT)
南港鉄鋼流通 協同組合岸壁	5.5	520	貨物船 2,000

● 専用埠頭計画

岸壁名称	水深(m)	延長(m)	対象船舶 (DWT)
南港鉄鋼流通 協同組合岸壁	5.5	276	貨物船 2,000

2-2. 専用埠頭概要及び岸壁延長変更位置

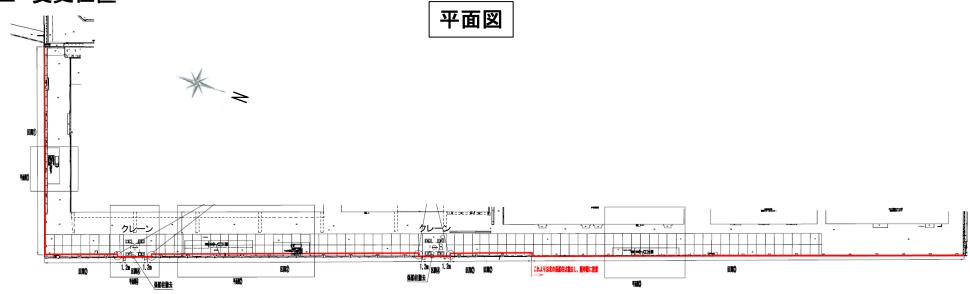
■ 専用埠頭概要

施設名称	大阪南港鉄鋼流通協同組合岸壁		
主要利用船舶・船型	鋼材船、船型(199~499GT)		
主な取扱品目	鋼材		
取扱貨物量(R4年)	58,653トン (すべて移入貨物)		
係留隻数(R4年)	157隻		

大阪南港鉄鋼流通協同組合概要

騒音・渋滞等の問題への対処、サービス強化及び作業の合理化のため、大阪市に本社を置く鐵鋼卸売業者 13社が出資し、1986年に設立された組合である。





【既定計画】

520m 【変更計画】 大阪南港鉄鋼流通協同組合岸壁

> 276m 大阪南港鉄鋼流通協同組合岸壁

244m 計画削除

2-3. 環境への影響と評価

■ 計画変更に伴う環境影響について

大気質について

- 本計画変更は、岸壁の一部を削除するものであるが、係留隻数に大きな変更が無い見込みであることから、 大阪港全体における船舶の停泊時・航行時に排出される大気汚染物質の総量への影響は軽微である。
- 以上のことから、今回計画が大気質に及ぼす影響は軽微であると考えられる。



• 今回計画が環境に及ぼす影響は軽微である

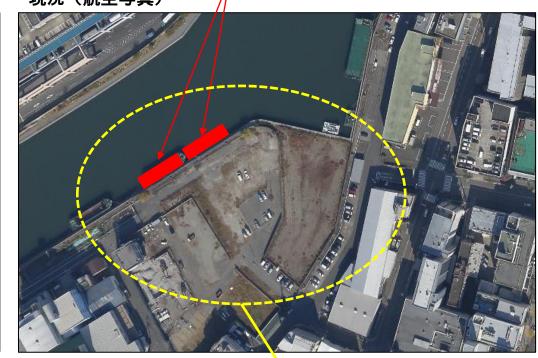
■ 変更理由

- 舟運の活性化を図る大阪府の要請に基づき、専用埠頭計画を計画する。
- 西地区において、水都大阪の魅力を今後の大阪観光の柱の一つとして成長させるため、 水上交通ネットワークの構築を図り、海と川の結節点として大阪府が整備する桟橋を 新たに位置付ける。

位置図







中之島GATE (サウスピア)

- 変更内容【専用埠頭計画(河川)の新規計画】
- 小型桟橋 2基





・ 専用埠頭(河川)計画

係留施設	基数	備考
小型桟橋	2基	新規計画

3-2. 専用埠頭計画変更の背景

■ 万博会場を起点とした水上交通ネットワークの構築

- ・ 中之島GATEエリアは、2025大阪・関西万博の会場となる夢洲やUSJ、海遊館があるベイエリアと大阪の都心部との中間に位置。
- 海と川の結節点として、ベイエリア、瀬戸内海などから大阪の都心部「水の回廊」へつながる玄関ロ
- 万博来場者を大阪市内の観光拠点に船で誘客し、水都大阪の魅力を全世界に発信

▶ 川船:波の影響を受け易いため <u>海上での航行は危険</u>

▶ 海船:水面からの高さで 橋梁下を通過できない

海と川の結節点である中之島GATEにおいて川舟と海船の乗換施設が必要

大阪府が乗換ターミナル機能を有する公設船着場を整備し、民間事業者がにぎわい施設等とともに一体的な管理・運営を行い、海と川の結節点として、万博開催時はもとより万博後も水都大阪の魅力を発信するなど、大阪の成長に寄与

■ 水上交通ネットワーク(イメージ)



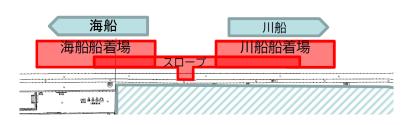
■ イメージパース



3-3. 施設整備内容及び船舶の離着桟について

■ 施設整備内容

● (仮称)中之島GATEサウスピア桟橋: 桟橋2基(長さ34m、幅4m、浮体式)、乗降用スロープ、その他付帯設備

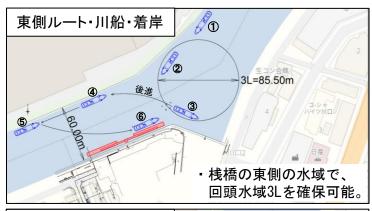


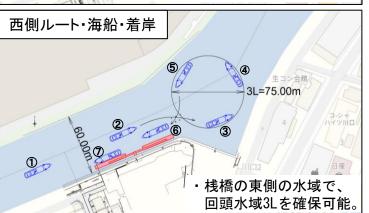
■ 今後のスケジュール(予定)

	2023年度	2024年度	2025年度
	(R5d)	(R6d)	(R7d)
(仮称)中之島GATE サウスピア桟橋等整備	★ 工事公告	R7.3 エ エ 完 元 大阪・関西が	R7.4 開業

■ 船舶の離着桟について

● 新規に計画する小型桟橋に係る操船例図は、次のとおりである。









3-4. 環境への影響と評価

■ 計画変更に伴う環境影響について

大気質 について

- 今回計画する専用埠頭では、最大でも総トン数60GT程度の小型旅客船の利用を想定しており、大型貨物船と比べ、大気汚染物質の排出量は極めて少ないものと想定される。
- そのため、大阪港全体における船舶の停泊時・航行時に排出される大気汚染物質の総量への影響は軽微である。
- 以上のことから、今回計画が大気質に及ぼす影響は軽微であると考えられる。

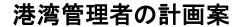
潮流・水質について

- 新たに設置する係留施設は、浮桟橋構造であり、潮流に大きな影響を及ぼすようなものではなく、また、新たな埋立、沿岸地形の変更、水質汚濁負荷量の変化を伴う土地利用計画の変更はない。
- 以上のことから、<u>今回計画が潮流、水質に及ぼす影響は軽微であると考えられる。</u>



• 今回計画が環境に及ぼす影響は軽微である

4. 今後の予定





大阪市港湾審議会

《令和5年11月14日》



国土交通大臣への計画送付

港湾計画の概要の公示

《令和5年12月(予定)》